

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市めかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				目標①		目標②			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営基盤（金融・税務・経理・経営・労働・共済等）の安定強化に向け、積極的に巡回指導並びに窓口相談対応を行い、潜在的な経営課題の解決を図る。	巡回指導実企業数 37(内非会員1) 窓口指導実企業数 54(内非会員1) 巡回指導実企業数 104(内非会員1) 延企業数 268(内非会員1) 創業窓口指導実企業数 1(内非会員1) 延企業数 1(内非会員1) 課題解決提案件数 14件 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 80.8 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 70.0 %)	コロナ禍において厳しい状況にある小規模事業者の良き相談相手として各種支援策援助の他、情報提供等企業に対し適切な指導、支援を実施することが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ禍において活動が制限されるが、現状における会員ニーズの把握と潜在的な相談案件の掘り起しにより地域の元気を取り戻す取組みを進めていく。			
経営発達支援事業	少子高齢化対策並びに地域活力回復に向けた創業者の創出・誘致・育成を進めるとともに地域内消費の拡大に繋がる観光関連事業者の創出・業績向上を図る。	①創業者の創出 創業者2件 ②事業計画策定支援 事業計画策定5件	小規模事業者	指標	創業者 (達成度 66.7 %)	指標	事業計画策定 (達成度 100.0 %)	コロナ禍の対応支援に追われる中、創業まもない方の事業推進支援や、各種補助金等を活用したステップアップを目指す事業者への適切な支援を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナを乗り越え越え地域に活気を取り戻すための取組みを進めていく。			
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行うことにより、適正な税務申告や経理の自計化がなされるようになるほか、計数管理によって経営力の向上に結び付ける。	記帳指導対象事業者数 80 延べ指導回数 924 指導回数 437 確定申告書受付数 135	小規模事業者のうち個人事業者（法人を除く）	指標	記帳指導事業者数 (達成度 101.3 %)	指標	確定申告書受付数 (達成度 122.7 %)	コロナ禍においても記帳指導対象者のすべてが期限内に申告することができ、e-Taxによる電子申告への切替指導推進により昨年より更に1割近く（105件→115件）増え、節税対策の面でも貢献することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	遅滞なく記帳業務を行う習慣と適正な帳簿作成の仕方をも身につけてもらうよう定期的な指導をしているが、まだまだ個人差があるため更なる指導が必要と思われる。			
講習会事業	小規模事業者が抱える経営上の問題点に対して実務的な講習会および個別相談会を開催する。	集団指導 5回 延べ指導者数 160人 (内 経営革新 1回2名) 個別指導 11回 延べ指導者数 98人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 74.1 %)	指標	満足度 (達成度 %)	インボイス制度への対応をはじめ経営者としての資質向上及び経営力の向上に貢献できた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	多様化する経営環境と小規模事業者のニーズに対応するため常に情報の収集に努める。			
若手後継者育成事業	商工業の後継者である青年経営者、後継者等を対象に、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会、研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。	青年部を中心として少子高齢化が進む当山間地においても、今後、活躍の場が広がっていくと思われるドローンについて関連する正しい法令知識と基礎的な操作技術を4回にわたり学んだ。参加者12名、延参加者28名。	青年部・女性部	指標	参加者数 (達成度 100.0 %)	指標	満足度 (達成度 125.0 %)	幅広く活躍が期待されるドローンについて、免許制や所有者登録制度に関連する法令等正しく学び、知識と基礎的な操作技術を身につけることでトラブルなく、自身の事業で活用する為の起点となる講習会になった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	ビジネスチャンス拡大に向けて引き続き効果的なIT活用セミナーを開催し、必要な知識を身に着けるとともに地域活性化に取り組んでいく。			
青年部・女性部事業	事業の基盤を支える青年や女性の育成のための研修会や交流会を開催し、資質の向上と組織の強化拡大を図り、商工会事業への協力・参加を推進する。	コロナ禍ではあったが青年部は今期も県外視察研修会をはじめ陶芸教室の実施等、資質向上に繋げることができた。女性部は部員同士の結束を高める目的で、講習会等を行った。 指導事業所数 63事業所	青年部・女性部	指標	指導事業所数 (達成度 105.0 %)	指標	満足度 (達成度 %)	青年部は県外視察研修会や陶芸教室の実施により見聞を広め資質向上が図れた。女性部は講習会活動を通して、より部員間の結束を固めることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青年部・女性部事業への参加意欲が向上する取り組みを進め、今後も組織の強化、事業推進に力を入れていく。事業所数が減少しているため目標値を下げる。			
法人会関係事業	会員の積極的な自己啓発を支援する事業を実施し、納税意識の向上を図るほか、企業の健全な発展に寄与する。また、税務支援団体の活動をサポートすることにより、事業の運営に協力する。	①新規法人 2企業加入 ②改正税法の説明会 本部1回 ③研修会 支部開催1回、本部開催6回 ④福利制度は各事業所が本部に割引券等を依頼し活用した。 ⑤広報等は02事業所に郵送にて配布 ⑥社会貢献事業はふるさとまつりに参加 ・法人会加入件数 82件	法人事業者	指標	法人会加入件数 (達成度 96.5 %)	指標	満足度 (達成度 %)	今年は社会貢献事業（めかたふるさとまつり）の参加や視察研修会も開催することができた。新規加入推進をおこなった結果、退会が4事業所あったが目標の3事業所を獲得することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	税務支援団体・地域貢献団体の活動を積極的にサポートし最新の税に関する情報提供を計ると共に加入推進を活発に行う。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	
労働保険事務組合事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付とその他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを代行することにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の普及促進及び労働保険料の適正な申告納付を図る。	巡回窓口指導を通して労働保険の重要性を説明し、正しい知識の普及促進に努めた。また、建設業の一入会労働組合の活用により、従業員のいない身内のみで事業を営む建設業者についても、安心して現場業務にあたって頂ける環境整備を図った。 委託事業所数 57件	中小事業主	指標 委託事業所数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	労働保険事務等の代行を通して、小規模事業者の事務処理負担の軽減化が図られた。また、併せて高齢雇用継続給付をはじめとした各給付金の活用等により、従業員の雇用維持確保に努めてきた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	引き続き安定した雇用環境の維持に向け支援協力を推進していく。	
ぬかたふるさとまつり事業	「ぬかたふるさとまつり」を開催して、各種PRを行うことにより、額田地区の商工業及び地域社会の発展に寄与する。	ぬかたふるさとまつり令和4年10月30日（日）開催3年ぶりの開催で心配されたが、出店者も来場者も満喫できた一日となった。	岡崎市民及び近隣市町村民	指標 入場者数 (達成度 120.0 %)	指標 (達成度 %)	コロナ禍で中止していたため3年ぶりの開催となったが、来場者がとても多く出店者側は早々と完売になるなど、額田地区の商工業や地域社会の発展に大いに役立った。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 変更する	目標②	11/12開催予定。地域の産業・観光・文化の発展に寄与していきたい。	
共済推進事業	各種共済制度の普及により、中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るほか、企業の健全な育成に資する。	・小規模企業共済 119件 ・倒産防止共済 6件 ・中小企業共済 152事業所 423口 ・その他 (特退共 30件) (火災共済 17件) (自動車共済 13件) (福祉共済 1件) (ビジネス総合保険9件) (業務災害 5件)	中小事業主	指標 各種共済加入件数 (達成度 89.0 %)	指標 (達成度 %)	商工会の自己財源の確保につながることはもとより、事業者の節税を始め体力強化を図り、福利厚生や経営の基盤強化に貢献した。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	中小企業共済以外の共済のPRと推進に検討改善の余地があり、今後も継続してPRを行っていく。	
商業団体指導事業	地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベントを実施するほか、地域通貨「森の健康券」取扱店の拡大等により、地域内の消費拡大と地域経済の活性化を図る。	・森の健康券登録店 58件 ・かき水街道の実施 参加店数 9店	中小商業者	指標 地域活性化協力店舗数 (達成度 95.7 %)	指標 (達成度 %)	地域内の消費拡大と地域経済の活性化に貢献できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標②	地域社会全体の活性化につながるよう引き続きの支援協力を推進していく。	
関係団体指導事業	各種業界団体・組合の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	○額田木材製材業組合 … 役員会3回、交流会1回開催。 緑と水の森林ファンド事業、地域材需要拡大推進事業、木材利用推進事業の実施他 ○額田繊維小売協同組合 … 第51期通常総会開催、中学校・各小学校・保育園等の学用品販売及び作業 ○岡崎食品衛生協会額田分会 … 保健所の指導を得ながら、地区の食品取扱い業者を指導。 ・額田木材製材業組合（素材、製材業者）13名 ・額田繊維小売協同組合（衣料品小売業者）4名 ・岡崎食品衛生協会額田分会（食品取扱い業者）42名	・額田木材製材業組合（素材、製材業者）13名 ・額田繊維小売協同組合（衣料品小売業者）4名 ・岡崎食品衛生協会額田分会（食品取扱い業者）42名	指標 各種業界団体・組合の構成人数 (達成度 92.2 %)	指標 (達成度 %)	・コロナ禍において活動が制限される中、販路開拓や売上向上を見込める有益な情報提供をするほか、組合・協会の適正な運営に貢献できた。 ・労働災害の防止と職場の安全衛生管理の向上に貢献できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標②	各関係団体の適正な運営・管理を維持するための指導や、有益な情報提供をするなど、継続的な事業実施が必要である。	
街路灯設置・維持管理事業	街路灯の維持管理による商店街の美化によって商店街区の活性化を図る。	街路灯のLED化を実施したため、商店街の美化向上につながり、電気料金の支払額を抑制することができた。 街路灯設置数 38本	地区内事業者	指標 街路灯設置数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	商店街が美化向上され顧客を誘致し、商店街区の活性化が図られた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	電気料の高騰など課題もあるため、今後も維持管理できるような事業を実施していく。	
福利厚生事業	中小・小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断を支援する。	健康診断助成金手続き（66人）	中小・小規模事業者の家族及び従業員	指標 健康診断支援数 (達成度 94.3 %)	指標 (達成度 %)	中小・小規模企業経営者及び従業員等の福利厚生事業の促進を図ることが出来た。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	事業所従業員の健康診断の推進、及び福利厚生と各種共済制度の幹事を進めていく。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業実施評価の	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①
部会・委員会事業	商業部会・工業部会などの業種ごとに資質向上に向けた事業を実施し、参加企業の活性化を図る。	(木材部会) ・ぬかたふるさとまつり、農林業祭参加により、木工教室他地域材の活用普及啓発活動を展開。 ・役員会3回(商業部会) ・おかざきかき水街道加盟店会議6回 新加盟店説明会1回	商業部会員・工業部会員等	各部会・委員会開催回数 (達成度 100.0 %)				有益な関係機関や部会員間の交流と情報交換が図られた。額田地区に多くの方に来所頂けるよう観光地PRに取組み地域の活性化に貢献できた。また、おかざきかき水街道も5年目を迎え、当地区のPRが得意地域活性化を図ることが出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり	情報収集を図りたい事業に応じて視察研修を実施予定。額田地区の観光地化に向けた取組みを更に進めていく。
情報化推進事業	インターネット等を利用して地区内小規模事業者の情報力を高めることにより、販売促進、新規顧客獲得など商工業の活性化に寄与する。	ホームページ更新回数 ・代行分18回 ・商工会分7回	小規模事業者	ホームページ更新回数 (達成度 100.0 %)				地区内小規模零細事業者の情報力不足の改善、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得など商工業の活性化。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり	適時に情報の提供ができるよう更新作業を行う。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。